

しるばータイムス

@しまね

Vol. 10
令和5年9月発行

目次 - CONTENTS -

- 神話と鉄学の道 鋼の街 安来市 …… 1
- センター紹介
「公益社団法人安来市シルバー人材センター」… 2～3
- 放課後児童クラブでこんなお仕事をしています … 4
- 人手不足の夏休みを前に開催
「放課後児童クラブ補助スタッフ養成講習」 … 5
- 【島根創生計画】放課後児童クラブを支える
多様な人材の確保・育成に向けて …… 6



アイアンタウン 鋼の街 安来市

安来市は、平成の大合併により旧安来市、広瀬町、伯太町が合併し生まれ変わりました。令和5年7月末時点で人口は36,007人、世帯数は14,252世帯、高齢化率37.7%となっています。地名の由来は、神代の昔、須佐之男神がこの地に来られ「吾が御心は安平けくなりましぬ」といわれたことから「安来」というようになったと伝えられています（出雲國風土記から）。島根県東部、鳥取県との県境に位置し、南部は中国山地に連なる豊かな緑に覆われ、そこを源流として中海に注ぐ飯梨川・伯太川の全流域が市域に含まれます。

安来市は高天原から天照大御神の命により金屋子神が比田の地に降臨され「たたら製鉄」を人間に伝授された製鉄発祥の地として伝えられています。神から伝授していただいた「たたら製鉄」の技で、広瀬地域及び伯太地域の山間地では、良質な砂鉄が産出されたことから、盛んに操業し優れた鋼材を生産しました。江戸時代後期から明治時代にかけて和鉄生産が最盛期を迎えると、安来港は北陸や関西に運ぶ鉄の積み出し港として栄えました。また、下流域の平野や三角州は、たたら製鉄のかんな流しによる土砂で形成されました。中でも、島根県の二

大平野・出雲平野と並ぶ能義平野は、大國主大神が須佐之男神の命により国造りを始められた時の着工の地であり、平野開



大倉正之助先生
人間国宝 能楽師囃子方大倉流天鼓
能義平野完成を祝い、天下泰平・国土安寧・五穀豊穰を祈念し奏上

拓と稲作を成功された地でもあります。現在の能義平野は、出雲大社の平成の大遷宮の時に大國主大神がご発動され、大規模圃場整備によりリニューアルし、日本国の食料需給に貢献しています。「たたら製鉄」をルーツとした日立金属安来工場（現プロテリアル安来工場）は、特殊鋼ヤスキハガネブランドで優れた鋼材を次々と産み出し、日本の「ものづくり」に貢献しました。メイドインジャパンの原点とも言えます。特に刃物鋼の分野で包丁や大工道具等に適した鋼材を提供してきました。イチロー氏・落合博満氏・松井秀喜氏達のバット作成を担当された、元ミズノの名工・バットの神様・久保田五十一氏も、ヤスキハガネ青紙鋼製のかんな・のみを愛用されてきました。

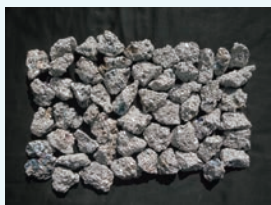
ヤスキハガネ青紙鋼があつてこそ、名人の技により精巧なバットは生まれたのです。



久保田五十一名
厚生労働省から「現代の名工」に認定、黄綬褒章を受章
イチロー氏らのバットを作成

安来市の神話と鉄の歴史に興味がある方は、ぜひ、和鋼博物館に来館下さい。

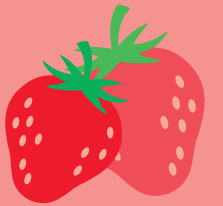
安来市は、「人が集い未来を拓くものづくりと文化のまち」を目指しています。



玉鋼
たたら吹きで、真砂鉄と木炭で作成された和鋼、唯一の日本刀の材料

文・公益社団法人安来市シルバー人材センター
派遣事業室 次長 佐伯 満也

いちご児童クラブ



思い出作りの場としての児童クラブに

安来市シルバー人材センターでは、十神小学校区の待機児童対策として教育委員会からの要請を受け、令和3年4月1日に「いちご児童クラブ」を開始しました。

現在、十神小学校区には3つの児童クラブがありますが、受け入れ体制はまだ不足している状態です。その中で、いちご児童クラブは、1〜3年生の児童を上限いっぱい22名まで受け入れています。

今年の夏休みは、子どもたちの熱い要望を受けてビニールプールを導入しました。ほぼ毎日水遊びをしています。

年間の活動として、避難訓練（7月）、遠足・七夕まつり（8月）を行いました。これからは、ハロウィン（10月）、クリスマス会（12月）などを予定し、子どもたちも楽しみにしています。

他にも、毎月2回以上手作りおやつの日を設けて、みんなで一緒に団子をこねたり、トッピングをつけたりしています。



日常



おやつの日



遠足



避難訓練

子どもたちにとっては、最長3年間の居場所ではありますが、楽しい思い出をいっぱい残してあげたいという気持ちで、また保護者にとっても安心して預けられる場所として、日々会員に協力してもらいながら運営しています。



宿題

いちご児童クラブ

- 開所日**
- 平日（月～金曜日） 14:00～18:00
 - 土曜日（希望者） 8:00～18:00
 - 夏・冬・春休み 8:00～18:00
 - 振替休業日 8:00～18:00

閉所日 日曜日、祝日、お盆、年末年始

■ スタッフ

会員14人（支援員4人・補助員10人）
長期休業期間は、午前3人、午後3人体制でローテーションを組み就業しています。

他の児童クラブが支援員等の不足に悩む中、たくさんの方のシルバー会員の賛同を受けて、人員的に安定した運営ができています。今年度も、2年以上の就業を経て支援員受講資格を得た3名の会員が、支援員認定資格研修会を受講し、資格を取るようになっていきます。

今後も支援員層を厚くしようと考えています。

文・いちご児童クラブ／公益社団法人安来市シルバー人材センター
前田 ひろみ

シルバー会員の参画で
安定した運営が可能に

放課後児童クラブ

勤務形態の特性に応じた担い手確保 臨短軽の2スタイル

放課後児童クラブでの業務全般

- 【特性】**
- 通常の平日は午後からの短時間勤務
 - 土曜日や夏休み等の長期休業中は1日勤務
 - 児童支援のスキルが求められる

専門業務／通年業務

支援員
が担当



1 シルバー人材センターが運営

支援員資格を有する会員を中心とした大人数のシフトによる安定した人員体制

周辺業務／一時的な業務

シルバー会員
が担当



2 地域のクラブにシルバー会員を派遣

クラブの開所日等に応じ、補助スタッフを柔軟に派遣、支援員の負担を軽減

国の「新・放課後子ども総合プラン」や島根県の「島根創生計画」において、放課後児童クラブ（以下「児童クラブ」）の充実に向けられた取組が進められています。この児童クラブの担い手を確保する手段の一つとして、シルバー人材センターの2つのスタイルが注目されています。

ひとつは、いちご児童クラブ（安来市）や、斐伊児童クラブ（雲南市）のように、シルバー人材センターが市町村から運営業務を受託して運営を行っている児童クラブです。この2クラブでは、シルバー会員が支援員等となって児童クラブの業務全般を行っています。

そしてもうひとつが、地域の児童クラブにシルバー会員を派遣する「シルバー派遣事業」です。令和5年7月現在で、島根県内20か所の児童クラブで活用され年々増加傾向にあります。

シルバー人材センターの活用が広がっている背景には、児童クラブが、変則的な勤務形態であるうえに、児童支援のスキルも求められる業務であることから、人材確保が困難であることなど特有の課題が影響しています。

こういった課題に対し、シルバー会員の「臨・短・軽」と言われる働き方は、児童クラブの特殊な勤務形態に違和感なく柔軟にあてはまる働き方です。短時間勤務やスポットでの依頼はもちろん、長時間勤務の場合も午前・午後に分けて複数の会員がローテーションで就業するなどといった手法が確立されているためです。

シルバー世代の多様な働き方のニーズを活かしながら、児童クラブの特性に応じるシルバー人材センターへの期待が高まっています。

※臨時的かつ短期的な就業、又は軽易な業務（臨・短・軽）とは、シルバー人材センターの会員1人あたりの就業範囲で、おおむね月10日程度以内、又は週20時間を超えないことを目安としています。

放課後児童クラブでこんなお仕事をしています

令和5年7月現在、島根県内20か所の放課後児童クラブでシルバー派遣事業をご活用いただいています。「月々スタッフが不足する日・時間」、「夏休みなどの長期休みだけ」、「毎月月初だけ」など、各クラブのニーズにマッチするシルバー人材が、現場の負担を軽減し、ゆとりある子育て環境をサポートしています。

基本情報 ①派遣期間 ②就業日 ③就業時間 ④派遣人数 ⑤就業会員数

子育て環境に安全・安心をプラス



きすき児童クラブ（雲南市）

①令和4年10月～ ②平日 ③14時～18時（長期休みは13時～18時） ④2人 ⑤8人

支援員さんが子ども達の出欠席の確認や記録を行う中、会員が掃除やおやつ準備などの補助業務を行います。支援員さんからは、「子ども達が帰ってきたら、会員さんが「おかえり」と元気に迎えます。机の消毒や遊び・勉強に取り組んでいる子どもの見守り、アレルギーなど気を配る子の対応など、さまざまな所に目を向けてもらい助かっております。」とのご感想をいただいています。

支援員の不足する日・時間に柔軟に対応



日原ひまわりクラブ（津和野町）

①平成31年4月～ ②平日 ③15時～17時30分（夏休み等は8時30分～13時及び13時～17時30分） ④2人（夏休みは3人） ⑤6人

津和野町からシグックス大新東ヒューマンサービス株式会社が委託業務を受け運営している放課後児童クラブです。津和野町シルバー人材センターには前月25日に支援員の足りない日・時間等の連絡があります。その他の突発的な依頼についても、出来るだけ柔軟に対応しています。また夏休み等については、午前の部・午後の部に分けて会員手配を行っています。

月初めの一時的な業務集中に活用



斐川地域児童クラブ運営委員協議会（出雲市）

①令和5年6月～ ②月初めの8日間程度 ③8時30分～17時 ④1人 ⑤1人

斐川地域の各児童クラブの職員さんの退勤データの整理・給与計算及び支払い帳票等の作成事務に就業しています。月初めの一時的に業務が集中する数日の勤務のため、臨・短・軽のシルバー派遣事業を活用されています。

豊富な経験を活かした対応で業務を支援



北陽こどもクラブ運営委員会（出雲市）

①令和5年1月～ ②月～金、第3土曜日、夏休み ③月～金13時30分～17時30分、第3土曜日11時30分～15時及び15時～18時、夏休み8時～12時及び13時30分～17時30分） ④1人 ⑤5人

令和5年1月から、北陽こどもクラブにおいて支援員の補助業務を行っています。子どもの見守りや掃除、花の水やりなどに従事し、豊富な経験を活かした対応に職員のみなさんからの信頼をいただいています。

人手不足の夏休みを前に開催！

放課後児童クラブ補助スタッフ養成講習（松江会場）

放課後児童クラブの充実に取り組む島根県からの委託を受け、入所ニーズが高まる夏休みを前にした7月5日～7日の3日間、松江市総合体育館において放課後児童クラブ補助スタッフ養成講習を開催し、34名が受講しました。

ニチイ学館の中山元美講師のもと、座学に加えグループ討議や意見交換、遊びの実習もあり、学童保育の基礎が詰まった充実した講習となりました。



実際シルバー人材センターに寄せられる派遣依頼の多くは、子どもの見守りやクラブの環境整備等、支援員の負担を軽減する周辺業務などですが、現場では児童への臨機応変な対応が求められる場面もあることから、子育て支援に関する基礎知識を持つ人材が望まれます。

クラブからのこれらのニーズを踏まえ、講習は、島根県が実施する子育て支援員研修の基本研修及び専門研修のうち放課後児童コースに準じた内容として行います。

主な講習カリキュラム

- 子ども・子育て家庭の現状
- 児童虐待と社会的養護
- 子どもの発達
- 安全の確保とリスクマネジメント
- 子どもと遊び 他

講習の最終日には、地元の2シルバー人材センターによる出張入会説明会及び個別面談を行いました。10名がシルバー人材センターに当日入会しました。そして受講者のうち7名が早速この夏休みに放課後児童クラブで補助スタッフとして就業しています。



次は松江会場に続き、10月に出雲、11月に益田で補助スタッフ養成講習を開催します。冬休み、そして春休みから新年度に備え、補助スタッフの養成を進めます。

講習をきっかけに 夏休みの児童クラブで就業

ひよしサンサンクラブ（松江市）

①令和5年7月21日～令和5年8月25日（夏休み）
 ②月～金（8/11～8/16は除く） ③7時45分～12時15分及び15時～18時 ④1人 ⑤7人

7月5日～7日に開催された放課後児童クラブ補助スタッフ養成講習（上記参照）の受講を経て、新たに9名が松江市シルバー人材センターに入会しました。

そして、夏休みを迎えスタッフが不足する児童クラブから就業の相談があり、松江市八雲町の「ひよしサンサンクラブ」へは7人の会員がローテーションで就業し、その内3人が今回の講習修了者です。クラブ内の清掃のほか、支援員2名とともに20数人の児童の見守りをしています。



**島根県とシルバー人材センターが連携して、
 放課後児童クラブでの就労を希望する方に
 向けた講習を実施しています**

島根県健康福祉部子ども・子育て支援課

主幹 岡田 大輔 氏



島根県では、令和2年度に「島根創生計画」を策定し、「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を実現するため、様々な施策に取り組んでいます。この一つとして、働く保護者の子育てを支えるため、放課後児童クラブの充実に向けた取組を進めており、令和元年度と比較して利用定員や利用時間を延長する児童クラブ数は大きく増加するなど、放課後児童の受入れ環境の整備が図られています。一方、年々利用ニーズが増加し、児童クラブを利用したくても利用できない待機児童が発生していることから、引き続き放課後児童の受入れ環境の整備を進めていく必要がありますが、児童クラブで働く人材の不足が大きな課題となっています。

このような中、島根県では、児童クラブを支える多様な人材の確保・育成を進めており、令和5年度からはシルバー人材センターと連携して、児童クラブでの就労を

希望する方に向けた講習を実施することとしました。この講習は、児童クラブで働いたことのない方であっても安心して働いていただけるよう、実習も交えながら児童クラブで働くための基本的な知識や技能を就労前に学べる内容としています。

令和5年7月には松江市で講習を実施し、34名の方に受講いただきました。講習を修了した方の中には、実際に7月から児童クラブで働かれた方もおり、人材確保につながっています。

今年度は、このほか出雲市、益田市の2会場でも講習を実施する予定としておりますので、ぜひ人材確保策の一つとしてシルバー人材の活用もご検討ください。

※放課後児童クラブとは、日中、保護者が家庭にいない児童に放課後の遊びや生活の場を提供する事業です（学童保育とも呼ばれています）。放課後児童クラブでは、職員が配置され、児童と日々接しながら活動しています。

ICT活用促進 仕事のお申し込みがパソコン・スマホからでもできるようになります

いつでもどこでも!

<https://webc.sjc.ne.jp/shimane/>

お仕事の依頼
 入会申込み

トップページのバナーからお進みください

「募集中のお仕事」情報は広く発信されます

<p>シルバー会員に</p> <p>会員専用サイト</p>	<p>講習受講者に</p> <p>講習時の情報提供 講習後の個別相談</p>	<p>地域の高齢者に</p> <p>講習受講者募集チラシ ホームページ</p>
-------------------------------	---	--

※ 事務所の「名称」「住所」「電話番号」などの情報はシルバー会員にのみ公開します

編集後記

取材にあたり、いくつかの放課後児童クラブを見学させていただきました。「基礎を学んでいたので安心感が違う」「事務作業をこなす余裕も生まれました」などのお言葉もいただきました。その他の地域でも支援員の皆様のご負担を少しでも軽くできるように、今年度はあと2回、出雲市と、初めて県西部で「放課後児童クラブ補助スタッフ養成講習」を開催します。地元のシルバー人材センターとも協力して、県内に広く事業を拡大していく所存です。